「どぼフェス」

祝　静岡どぼくらぶ１０周年

地域建設業も、建設スタートアップも、メーカーも、学生も、教授も、みんなつながる共創の輪

令和8年度に設立10年目を迎える**「静岡どぼくらぶ」**は、広報の枠を超え、産学官が連携して建設業界の課題解決に取組む**“共創のプラットフォーム”**として、次の10年に向け拡大・発展を目指す。

共創を実践する場として**「どぼフェス」**を**「新技術交流イベント」と融合して開催**し、インフラマネジメントや担い手育成・確保、土木の魅力向上などについて情報を共有し、**みんなで考えることで新たな連携とチャレンジを創出する。**

多くの関係者が集い、**つながりを確認し、さらに広げ、深め、それを高め合うことにより、「相互扶助による共創の輪（和）」を構築する**ことで、**「DOBOCLUB」が「土木LOVE」**になり、産学官共創の見える化と機運醸成を進め、県民・社会への発信も含めて**課題解決につなげていく。**

11月26日10～16時
静岡グランシップ
１階大ホール

共創

（共創ってナニ？をみんなで理解）
（つながりを増やす場）
（みんなで考える場）

土木のイメージアップ

（みんなで情報発信）
（土木の魅力を再定義）
（インフラツーリズム）

人材育成

（モチベーション）
（シビックプライド）
（若手・女性交流）
（褒め称える場）

どぼフェス

つながりを
広げ・深め・高め合う

みんなで
集まって考える

インフラマネジメント

（インフラ経営）
（郡マネ・包括管理）
（他業界の参入）

担い手確保

（土木キャリアイメージ）
（マッチング）

建設スタートアップ ＤＸ推進（新技術交流）

（マッチング）
（効率化・遠隔化）

目的

- 「静岡どぼくらぶ」をプラットフォームとした共創の仕組みを構築。
  （産学官によるどぼフェス実行委員会を立ち上げ、自立した運営主体への発展を目指す）
- 土木の産学官が一堂に集い、共創による課題解決を考える場を創出。
- 建設現場の生産性向上（効率化・省力化）に向けて、100社以上の新技術出展と地域建設業界・学生をマッチングして、共創により建設産業の未来を描く。
  （新技術交流イベントをバージョンアップしてマッチングや課題解決の場に発展）

どぼフェス タイムスケジュール（案）

10/28時点

10:00 **オープニング**

10:05 **1＜つながる＞土木LOVE進歩ジウム （30分）**
県内各地の「どぼくらぶ」や協議会など、土木の共創主体が集結。
その意義とメリットを共有し、さらなる仲間づくりを目指します。

10:40 **2＜つながる＞マッチング募集企画（出展者ＰＲタイム） （20分）**
出展者によるPR （4分×6社）

11:10 **3＜考える＞やっちゃえ！建設ＤＸ・ＡＩ （30分）**
建設産業の働き方を革新した先駆者、建設ディレクターや
ＡＩコンサルタントが一堂に会し、未来に向けて語り合う。

11:45 **4＜つながる＞どぼくらぶアワード（第１部） （40分）**
建設工事統計調査表彰（国土交通大臣表彰） （5分）
優良工事・業務表彰（県知事表彰） （5件×4分）
県技術研究発表会の入賞者 （5分）
新技術交流マッチング実績者 （2件×5分）

12:30 **5＜つながる＞学生たちによる土木学会 （15分）**
静大、理工科大、科技高 （5分×3校）

12:50 **6＜考える＞インフラマネジメント実現の壁は何？ （50分）**
インフラ施設の老朽化が加速する中、建設人材の不足が社会問題に。
解決に向けて静岡県内で取組む「郡マネ」の最前線を語り合う。

13:50 **7＜考える＞地域を守り育てる建設業の未来像 （30分）**
地域を守り育む独自の取組みから見える建設産業の未来像を語り合う。

14:25 **8＜つながる＞どぼくらぶアワード（第２部） （35分）**
高校生による建設業作文の受賞者 （3名×5分）
建築甲子園　受賞者 （1チーム×5分）
学生による各種研究・作品の表彰実績者 （2件×5分）
建設業ヒーローの登場：動画紹介と本人インタビュー （2件×5分）

15:05 **9＜つながる＞「僕が見たかった土木の現場」トーク＆撮影秘話（30分）**

15:40 **10＜つながる＞どぼくＬＯＶＥコール**
届けよう！受け取ろう！どぼくへの愛コトバ！　※登壇者募集中

15:55 **集合写真撮影**

16:00 **クロージング**

「どぼフェス」

祝　静岡どぼくらぶ１０周年

地域建設業も、建設スタートアップも、メーカーも、学生も、教授も、みんなつながる共創の輪

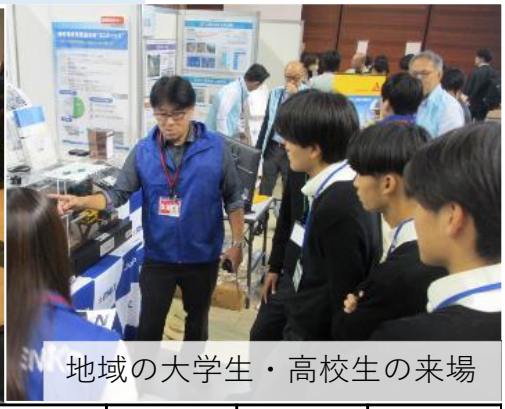
先端技術・先端研究のブース展示（R7開催状況）



1,000人以上の来場者



多数の体験型新技術ＰＲ



地域の大学生・高校生の来場

	R5	R6	R7
出展者数	95社	111社	88社
来場者数	1,131人	1,180人	1,300人

産学官の交流イベント（メインステージ）

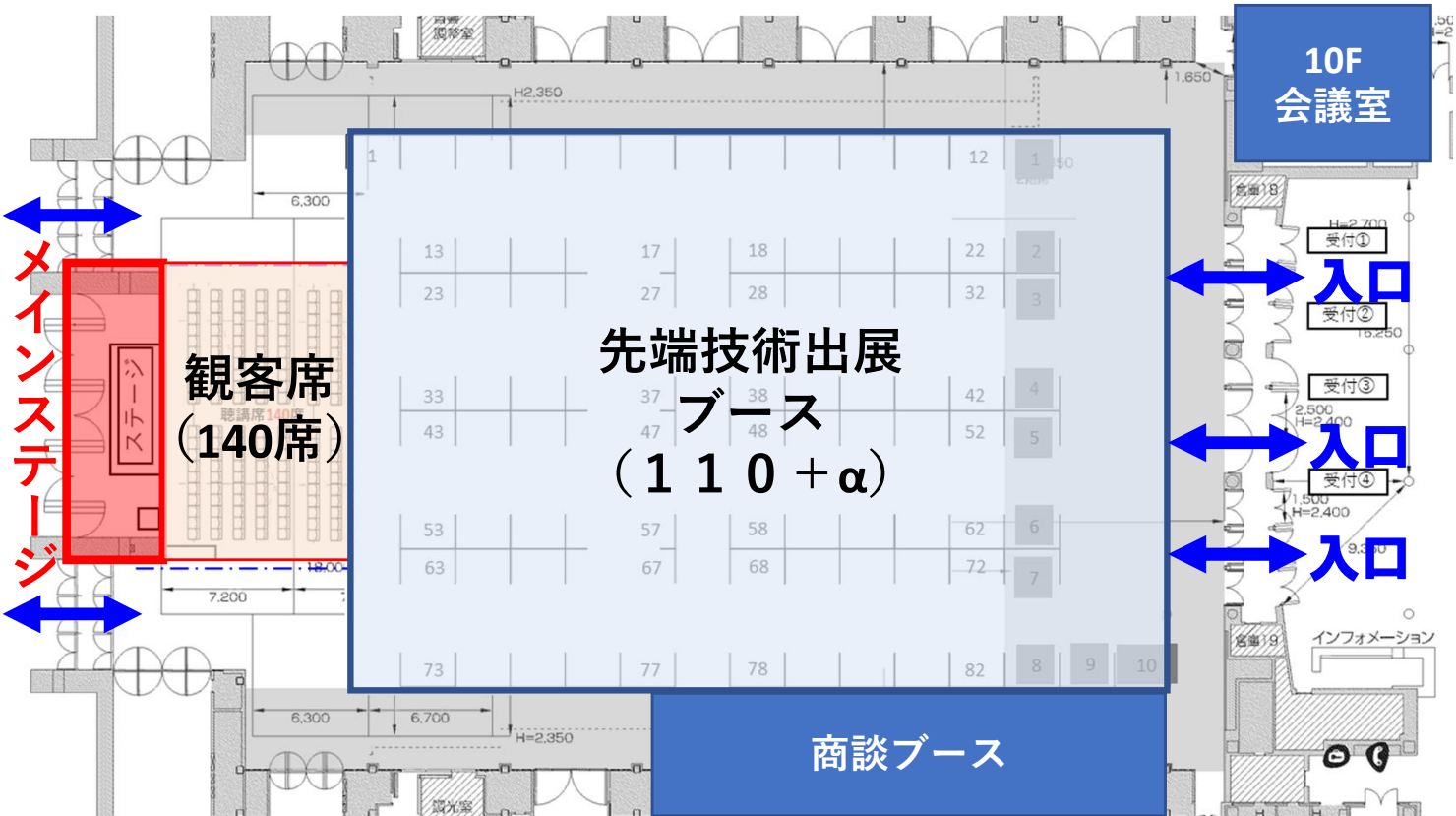


メインステージでのプレゼン・ワークショップ



新技術ＰＲブースとメインステージが一連の会場

会場配置図



DOBO CLUB
静岡どぼくらぶ

土木は、静岡県の未来を創る重要な産業です。
新しい道をつくり、橋を架け、いまあるインフラを守り
万一のことがあれば、すぐに駆けつけ復旧する。
そんな地域に欠かせない土木を支える若者が減っています。
土木の業界に若者を呼ぶには、
静岡県だけが行動しても、建設会社だけが声をあげても難しい。
土木に関連するすべての組織、人々、県民がいっしょになって
土木の重要性、仕事としての魅力を再認識し、発信することが必要になります。

「静岡どぼくらぶ」は、土木の将来、静岡県の未来をともに考え、
土木の現場でつながる広いサークル（仲間）です。
そして、静岡県の土木に関わる人みんなが
チームの一員という意識を持ち、この仕事に誇りを持ち、
胸を張って仕事をすることを「静岡どぼくらぶ」がサポートします。
みんなの笑顔をつくり、ダイナミックな現場から
土木の素敵を訴えかけるのが大切な役割です。

その想いが集まることで、
「静岡どぼくらぶ」は「静岡どぼくLOVE」になり、
土木への愛がつまったメッセージを広く送ることができます。

DOBO CLUB
静岡どぼくらぶ

▶

土木 LOVE
静岡どぼくらぶ